

# 宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別対応方針シート

チーム名	第 1 チーム	担当課名	森林水産課
事業番号	1-13	事務事業名	つくる漁業の振興事業

対応方針	見 直 し
------	-------

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p style="text-align: center; font-size: 0.8em; margin-bottom: 10px;">※ ( )内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p> <p>(1) 事業終期の設定については、実態を踏まえ漁協・漁業者と調整しながら進めていく（資源量の把握については、本市独自の調査は難しいため、県が実施している資源量調査の状況を参考にする。）。          なお、県が資源回復計画を策定しているカサゴについては資源管理効果の将来予測に基づき放流を行い、その他の魚種についても資源の回復を目指して漁業者と協議しながら放流を行っているが、将来的に資源量の回復がみられれば、魚種や放流規模の変更について関係者と協議していきたい。（①・③）</p> <p>(2) 現在、本市が放流している魚種（ヒラメ、イセエビ、カサゴ、アワビ）は、沿岸海域への定着性が強く、かつ、魚価が高いことから漁業者の声に応じて選定を行ってきたものであり、漁家経営の向上に大きな成果を上げている。消費者の嗜好に合わせた魚種を選定する場合でも、定着性は重要なポイントとなるので、これらの条件が合致すれば変更も可能と思われる。（②）</p> <p>(3) 国、県を通じた施策として継続して事業に取り組みながら、本市の重要な産業である漁業の振興を図っていく。（④）</p>